

# 令和5年度 研究研修事業報告

## 1 教職員研修及び研究事業運営の基本方針

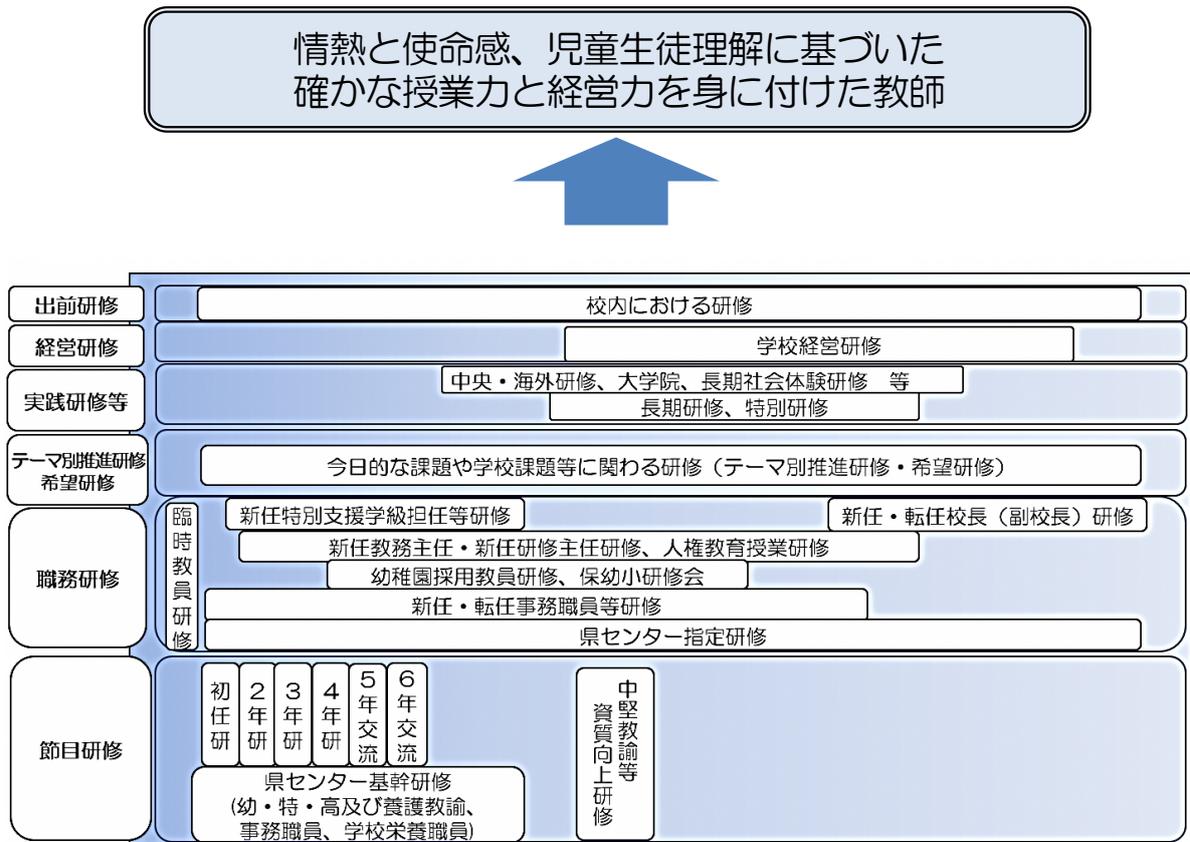
- 目指す教師像を「情熱と使命感、児童生徒理解に基づいた確かな授業力と経営力を身に付けた教師」とし、計画的な教職員の人材育成を目指す研修、研究を行う。
- 市教委内の各課・係や国、県の教育機関、大学等と連携し、それぞれが有する教育資源を活用しながら、事業の円滑かつ効果的な運営を行う。

## 2 教職員研修に関すること

### (1) 基本的な考え方

学校文化の創造を支える「情熱と使命感、児童生徒理解に基づいた確かな授業力と経営力を身に付けた教師」の育成を目指し、実践的な指導力の向上を図るため、一人一人の経験や職務等の教職員のキャリア段階に応じた研修を実施する。

また、研修参加者の振り返りやアンケート、市教委内の各係からの情報を基に、参加者の立場や時期等に応じた研修内容の精選と参加形態の工夫を通して、研修の更なる充実を図る。



## 教職員のライフステージに応じた教職員研修

(2) 具体的な研修講座の設定

グループ	研修区分	研修名	実施回数 (参加人数)	令和5年度の取組 及び公開講座講師等
指定 研修	節目研修	○小・中学校 初任者研修	14回 (618人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修では、全ての初任者の勤務校に訪問した。</li> <li>・必須8回と選択2回</li> </ul>
		○小・中学校 2年経験者研修	5回 (171人)	
		○小・中学校 3年経験者研修	6回 (239人)	
		○小・中学校 4年経験者研修	4回 (121人)	
		○小・中学校 5年経験者交流会	2回 (64人)	
		○小・中学校 6年経験者交流会	2回 (40人)	
職務研修	○新任・転任校長(副校長)研修 ○新任教務主任研修 ○新任研修主任研修 ○新任・転任事務職員等研修 ○人権教育授業研修 ○臨時教員研修	○新任・転任校長(副校長)研修	1回 (10人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育授業研修は、城東小学校を会場に実施した。</li> </ul>
		○新任教務主任研修	2回 (22人)	
		○新任研修主任研修	3回 (38人)	
		○新任・転任事務職員等研修	2回 (24人)	
		○人権教育授業研修	1回 (81人)	
		○臨時教員研修	1回 (21人)	
経営研修	○学校経営研修Ⅰ ○学校経営研修Ⅱ	○学校経営研修Ⅰ	1回 (48人)	
		○学校経営研修Ⅱ	1回 (76人)	
テーマ別 推進研修	○外国語授業力向上研修 ○小学校プログラミング教育に関する研修 ○ICT 授業づくり研修 ○中学校「考え、議論する道徳」の授業づくり研修 ○人権教育研修 ○教育相談研修	○外国語授業力向上研修	1回 (27人)	
		○小学校プログラミング教育に関する研修	1回 (46人)	
		○ICT 授業づくり研修	4回 (272人)	
		○中学校「考え、議論する道徳」の授業づくり研修	1回 (21人)	
		○人権教育研修	1回 (67人)	
研究成果 発表会	○前橋長期研修・前橋特別研修 研究成果発表会	○前橋長期研修・前橋特別研修	1回 (123人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合とオンライン同時開催</li> </ul>
		研究成果発表会		
希望 研修	希望研修	○新任特別支援学級担任等研修	1回 (36人)	
		○臨時教員研修 (希望) ○臨時教員のための 授業づくり講座【オンライン】 ○つながるICTひろば ○ひろがる道徳ひろば	21回 (2人) 2回 (0人) 5回 (28人) 3回 (6人)	
公開講座	○評価を生かした道徳科の授業づくり ○学校における性の多様性と人権 ○多様な学び方が生きる授業 ～特別支援教育の視点を取り入れて～ ○学び合う授業研究をどうつくるか	○評価を生かした道徳科の授業づくり	1回 (39人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬大学 久保 信行 客員教授</li> <li>一般社団法人ハレルワ 間々田久渚 代表</li> <li>明星大学 小貫 悟 教授</li> <li>慶応義塾大学 佐久間亜紀 教授</li> </ul>
		○学校における性の多様性と人権	1回 (28人)	
		○多様な学び方が生きる授業 ～特別支援教育の視点を取り入れて～	1回 (52人)	
		○学び合う授業研究をどうつくるか	1回 (34人)	

	<p>○1人1台端末に求められる 情報活用能力としてのモラル教育</p> <p>○授業に生きる評価 ～指導と評価の一体化～</p> <p>○学校におけるICTを活用した学習場面</p> <p>○よりよく生きる力を育む学級活動の 授業づくり</p> <p>○知っておきたい いじめ問題最新動向</p> <p>○中学校外国語における 指導と評価の在り方について</p> <p>○ICTを活用した個別最適な学びと 協働的な学びによる新しい学びの実現</p> <p>○さらなる学習指導の改善・充実に向けて (算数・数学) ～全国学力・学習状況調査結果を生かした授業づくり～</p> <p>○探究型授業をデザインする ～総合的な学習の時間の展開～</p> <p>○さらなる学習指導の改善・充実に向けて (国語) ～全国学力・学習状況調査結果を生かした授業づくり～</p> <p>○授業づくりの深め方～「わかる授業」へ、 そして「教科する授業」へ～</p>	<p>1回(22人)</p> <p>1回(36人)</p> <p>1回(74人)</p> <p>1回(25人)</p> <p>1回(45人)</p> <p>1回(27人)</p> <p>1回(87人)</p> <p>1回(75人)</p> <p>1回(41人)</p> <p>1回(69人)</p> <p>1回(51人)</p>	<p>静岡大学 塩田 真吾 准教授</p> <p>総合初等教育研究所 北 俊夫 参与</p> <p>信州大学 佐藤 和紀 准教授</p> <p>文部科学省 安部 恭子 視学官</p> <p>群馬大学 吉田 浩之 教授</p> <p>文部科学省 入之内昌徳 教科調査官</p> <p>東京学芸大学 高橋 純 教授</p> <p>国立教育政策研究所 直海 知子 学力調査官</p> <p>国立教育政策研究所 齋藤 博伸 教育課程調査官</p> <p>国立教育政策研究所 渡辺 誠 学力調査官</p> <p>京都大学大学院 石井 英真 准教授</p>
出前研修	<p>○授業づくりサポート</p> <p>○研修運営サポート (道徳科・人権教育・ICT活用・授業改善等)</p>	8回(131人)	<p>・校内研修のテーマに沿った授業づくりや研修運営サポートに関わる講義や演習、個別の相談を実施した。</p>

[成果]

- 各研修において、県の育成指標を基に、キャリア段階に応じて求められる資質・能力や職務に応じて求められる能力の育成に向け、講義だけでなく演習等やグループ協議、報告会等を行うなど、内容を工夫しながら実施することができた。
- ICT活用や性の多様性、スクールロイヤー、外国につながるのある児童生徒の教育など、多様化する課題に応じた内容を取り入れ、各研修の充実を図ることができた。また、公開講座では、外部から講師を招聘し、より専門的な立場から具体的な指導方法についての講義や先進的な取組の事例紹介等を行うことができた。

[課題]

- 各研修講座において、今日的な課題に対応したり、学校での実践につなげたりできるような研修内容になるよう、引き続き必要な支援や方策等を探っていく必要がある。

### 3 教育研究員に関すること

#### (1) 前橋長期研修

研究領域	研究主題	研究員
小学校 特別の教科 道徳	小学校道徳科において 自己の変容や成長に気付く児童の育成	前橋市立大利根小学校 樺澤裕美 教諭
中学校 国語科	中学校国語科「読むこと」における知識や経験を 結び付けながら自分の考えを広げ深める学習指導	前橋市立明桜中学校 三好智子 教諭
中学校 数学科	数学科において 知識をつなぎ説明できる生徒の育成	前橋市立富士見中学校 小池智己 教諭

〈研究に関わる主な日程〉

〈学校経営に関する主な講義・演習〉

月 日	日 程	内 容
4月 3日	研究員命令書交付	〔課題研修〕 ・まえばし学校教育充実指針の項目を中心とし、教育活動の概要を経営的に捉える。
5月 15日	主題検討会	〔事例研修〕 ・学校危機管理など事例を基に、経営的視点から考える。
7月 7日	実践検討会Ⅰ	〔伝える研修〕 ・校務分掌事項について、経営的視点から再構想し、実践を視野に入れた提案内容を考える。
7月 31日	実践検討会Ⅱ	〔深める研修〕 ・研修内容から自己課題を選択し、学校における実施計画を作成する。
9月～	各置籍校での実践	〔プラス研修〕 ・総合教育プラザ館内の他課の係の業務内容について、聴き取りを行う。
11月		
11月 22日	執筆検討会	
12月 26日	草案検討会	
1月 30日	推進研修 *研究成果発表会による研究報告	
3月 29日	研修修了	

〔成果〕

- 実践研究では、本市の教育課題と自己の課題に基づき、年間を通して研究に専念することができた。特別の教科 道徳では、「スタディ・ログとして、自己の学びを蓄積・見返すことができる一覧シートの作成と、このシートを活用した振り返り活動」について、国語科では、「単元計画表を活用した支援と考えの形成を促す交流の工夫、考えの変容に気付けるようにする支援を取り入れた授業」について、数学科では、「自己評価の場面を設定し、反転学習を生かした導入の工夫、グループで説明し伝え合う活動を取り入れた授業」について研究した。研究成果発表会を集合とオンラインの同時開催で行った。さらにオンデマンド配信も行った。
- 経営研修では、今日的な教育課題やまえばし学校教育充実指針等を題材とし、課題の的確な把握、情報の収集、実施計画の立案、提案などについて、実効性のある研修を実施することができた。また、特別研修研究員との合同研修では、ファシリテーターとしての役割を務めるとともに、研究員同士のつながりを深め、高め合う関係を構築することができた。学校を俯瞰して見ることで、学校経営に対する視野を広げることができた。
- 群馬大学大学院の研究者教員から検証方法等について直接指導・助言をいただいたり、高崎市長期研修との合同研修を充実させたりしたことで、教員としての専門性をより高めることができた。

〔課題〕

- 研究員の研究成果を学校現場に還元できるよう、現場に根差した研究、提案性のある研究を進めていく。

(2) 前橋特別研修

研究領域	研究主題	研究員
小学校 教育の情報化	考えを整理し、 学んだことを実感することができる児童の育成	前橋市立勝山小学校 小平 幸子 教諭
小学校 体育科	運動の楽しさや喜びを味わい、 進んで課題を解決しようとする児童の育成	前橋市立荒牧小学校 坂田 真美子 教諭
小学校 国語科	国語科における自分の考えを広げたり、 まとめたりする話合いの指導の改善	前橋市立荒子小学校 小林 あつみ 教諭
中学校 生徒指導	生徒の自己効力感を高める生徒指導主事の取組	前橋市立みずき中学校 小林 朱里 教諭
中学校 外国語科	中学校外国語科において目的・場面・状況に応じて 適切な語彙や表現を用いて伝えられる生徒の育成	前橋市立宮城中学校 小池 賢一 教諭

〈研究に関わる主な日程〉

〈学校経営に関する主な講義・演習〉

月 日	日 程	内 容
4月13日	入所式、オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校組織を生かす中堅教員の役割</li> <li>・道徳教育の在り方</li> <li>・学校における特別支援教育</li> <li>・学校におけるICTを活用した学習場面</li> <li>・事例研修（長期研修研究員との合同研修）</li> <li>・いじめ防止と自殺予防に関する理解</li> <li>・キャリア教育の在り方</li> </ul>
6月8日	主題検討会	
5月中	授業研究Ⅰ＊勤務校での実践	
8月24日	実践検討会	
9月28日	授業研究Ⅱ＊勤務校での実践 (研究授業、授業研究会)	
10月5日		
10月12日		
12月7日	研究員協議	
12月26日	草案検討会	
1月30日	推進研修 ＊研究成果発表会による研究報告	
2月29日	修了式	

〔成果〕

- 研究員の課題を基に、学校と連携しながら研究を進め、実践的な教育研究とすることができた。
- 研究員同士の演習・協議を充実させたことにより、研究員相互の活発な意見交換につながった。  
また、学校経営に関する演習を通して、中堅教員として視野を広げることができた。
- 研究成果発表会では、集合した参加者にも、オンラインでの参加者にも、一年間の実践と研究の成果を伝えることができた。さらに、当日参加できなかった教員に向けた資料や校内研修での資料として活用できるようにするために、研究の概要や発表動画をまえばしGIGAサポートサイトに掲載することによって、研究の成果を幅広く伝えることができた。

〔課題〕

- 教職員のニーズを探ったり、学校との更なる連携を図ったりしながら、より一層学校課題を反映した研修の在り方や内容にしていく必要がある。
- 人材育成等の視点から、研修内容を精選したり、研修方法を工夫したりして、更なる充実と効率化を図っていく必要がある。

## 4 その他の業務に関すること

### (1) 人権教育事業に関すること

- ・小・中学校6年経験者交流会（6/9） 講義「学校における性の多様性と人権」  
講師 一般社団法人ハレルワ 間々田 久渚 代表
- ・中堅教諭等資質向上研修（8/2） 講義「差別の現実から学ぶ」  
講師 生涯学習課 社会教育係 指導主事
- ・人権教育研修（9/1） 講義「人権に関する重要課題の取組」  
講師 学校教育課 教育研修係 指導主事
- ・初任者研修（10/17） 講義「学校における人権教育の実際」  
講師 学校教育課 教育研修係 指導主事
- ・人権教育授業研修（11/24）  
特別の教科 道徳「二わのことり」〔B - (9)友情、信頼〕  
指導者 福島 綾 香 城東小学校 教諭  
特別の教科 道徳「折れたタワー」〔B - (11)相互理解、寛容〕  
指導者 長 田 道 久 城東小学校 教諭
- ・人権教育推進状況調査 2月上旬実施

#### 〔成果〕

- 初任者研修を始めとする節目研修において、いじめ・児童虐待など子供に関すること、同和問題、性的マイノリティといった人権重要課題に関わる講義を実施した。人権教育研修では、「教職員の人権感覚チェックリスト」を活用して参加者に振り返ってもらい、その感想を参加者同士で交流する場面を設けた。その結果、実践につなげていこうとする意欲的な感想が多く寄せられた。
- 人権教育授業研修では、4年ぶりに各校・園より一名ずつ参加する集合研修として開催することができた。城東小学校において道徳科の公開授業を行い、授業研究会では人権教育の視点から協議したり、各校の人権教育の取組等についての情報交換や共有等を行ったりした。
- 各校・園での人権学習の充実を図るために、毎月の校長会議において、人権教育教材（DVD）の情報提供を行った。

#### 〔課題〕

- 人権教育の視点を大切にした授業づくりや教師の関わり等について、実際の授業を参観し協議したり各校・園の取組を共有したりしたことを、受講した後に各学校・幼稚園で広めていただくよう働きかけていくことが必要である。

### (2) 学校評価事業に関すること

- ・学校評価システム運用に係る実務研修（6/20、6/28、11/15）
- ・新任教務主任研修（8/8）「学校運営への学校評価の活かし方」

#### 〔成果〕

- 学校評価システム運用に関する動画資料やマニュアル等の各種資料をGoogleドライブ上に掲載し、各学校の学校評価担当が状況に応じて、随時確認できる環境を整えることができた。
- まえばし学校教育充実指針に基づく共通項目の他に、独自項目を設定した学校は6校あり、実務研修等で個別に支援を行ったことで、滞りなく運用を行うことができた。

#### 〔課題〕

- 各学校が前年度の学校評価結果を基に設定した重点項目を意識して組織的・継続的に学校運営の改善を図ることができるよう、継続して研修等の機会での周知を図る必要がある。

令和4年度 学校評価アンケートの結果について

学校教育課 教育研修係

令和4年度の各小・中学校の学校評価アンケートの結果を集計し、本市全体の傾向をまとめました。アンケートは、「まえばし学校教育充実指針」の共通項目（32項目）に対応しています。

【令和4年度 教職員・保護者ニーズ度、児童・生徒実現度 共通項目 結果一覧】

柱	重点項目	番号	評価項目 (各項目は充実指針の各内容と対応)	小学校			中学校		
				教職員	保護者	児童	教職員	保護者	生徒
				ニーズ度		実現度	ニーズ度		実現度
1 学校力を高める学校経営	【1】一人一人がチームの一員として参画する学校づくり	1	充実指針を生かした学校課題の解決に向けた取組	17.7			18.0		
		2	実効性の高い学校評価と学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実践	17.4	16.2		18.3	16.8	
		3	学校課題の解決に向けたチーム学校としての指導体制の構築と取組の推進	17.8			17.6		
	【2】学校間の連携と開かれた学校づくり	4	保幼小中のつながりを大切にされた教育活動の推進	18.6			20.7		
		5	保護者や地域住民との協働による学校運営の仕組みづくりの推進	17.4	16.1		18.3	16.8	
		6	PTA や地域の組織を生かした教育活動の推進	16.5	14.3		17.1	15.5	
		7	地域行事への参加や交流活動の推進	18.6	15.8	4.6	19.8	16.8	4.0
	【3】ニーズに応じた校内体制づくりの工夫	8	一人一人を大切にされた特別支援教育の充実	16.8	19.5		17.2	20.2	
		9	組織的な生徒指導の充実	17	21.4	6.2	15.6	22.1	5.5
	【4】教職員の資質・能力の向上	10	実践的な指導力・経営力を高める校外の研修機会の活用	18			18.3		
		11	指導力の向上を目指した校内の研修の充実	15.2			16.7		
		12	学年学級経営案・教科経営案・自己申告書等を生かした自己研修の推進	16.8			17.7		
	【5】安全・安心な学校づくりの徹底	13	学校の安全管理・環境衛生管理体制の充実	15.8	17.8		15.8	18.2	
		14	関係諸機関と連携した危機管理体制の充実	16.6	15.6	6.3	16.0	17.3	5.9
2 魅力あふれる教育活動	【6】学び続ける力の育成	15	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の推進	18.6	18.3	5.4	18.2	18.6	5.1
		16	学びの質を高めるICT活用の推進	18	17.7	5.8	18.3	18.6	5.5
		17	体験活動を重視した学習の推進	18	17.6	5.8	19.2	19.2	5.7
		18	知識・技能の定着を図る学習の工夫	17.4	17.6	5.8	18.1	19.2	5.4
		19	学校図書館を計画的に活用した授業の推進	16.5	16.2	5.6	20.7	19.6	3.7
		20	コミュニケーションを図る楽しさを大切にする外国語教育の充実	15.6	19.5	5.6			
	【7】豊かな人間性の育成	21	生き方の自覚を深める道徳教育の推進	18	17.4	5.8	18.3	18.3	5.6
		22	自他の大切さを認め合える人権教育の推進	17.6	17.9	6.2	17.9	18.9	5.8
		23	温かな人間関係を築く体験活動の充実	18.6	18.6	6.4	18.6	19.2	6.0
		24	自然を愛し、自然を守る心を育む教育の推進	18.6	17.4	5.8	20.1	19.2	5.2
		25	地域の偉人や歴史、自然や文化に触れ、郷土について学ぶ教育活動の推進	18	16.5		19.4	17.6	
		26	集団や社会の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導の充実	18.8	17.7	5.8	17.8	18.3	5.9
	【8】健康増進・体力の向上	27	運動好きな子供を育て、体力向上を図る取組の推進	17	16.2	5.8	16.7	16.8	5.5
		28	基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する能力の育成	19.1	17.6	5.3	19.4	18.6	5.0
		29	食に関心をもち、健康な生活を実現する態度の育成	19.2	17.3	5.2	19.8	17.6	5.2
	【9】自立性・社会性の育成	30	自立性や社会性を育てるキャリア教育の推進	19.5	19.2	5.5	18.6	20.2	5.0
		31	自治的な能力を高める学級活動、児童会・生徒会活動の推進	18	16.7	5.4	18.6	17.1	5.0
		32	自己の役割を自覚し、最後までやり抜く態度を育てる活動の推進	18.6	17.3	6.2	18.2	18.6	5.8
平均				17.7	17.4	5.7	18.2	18.4	5.3

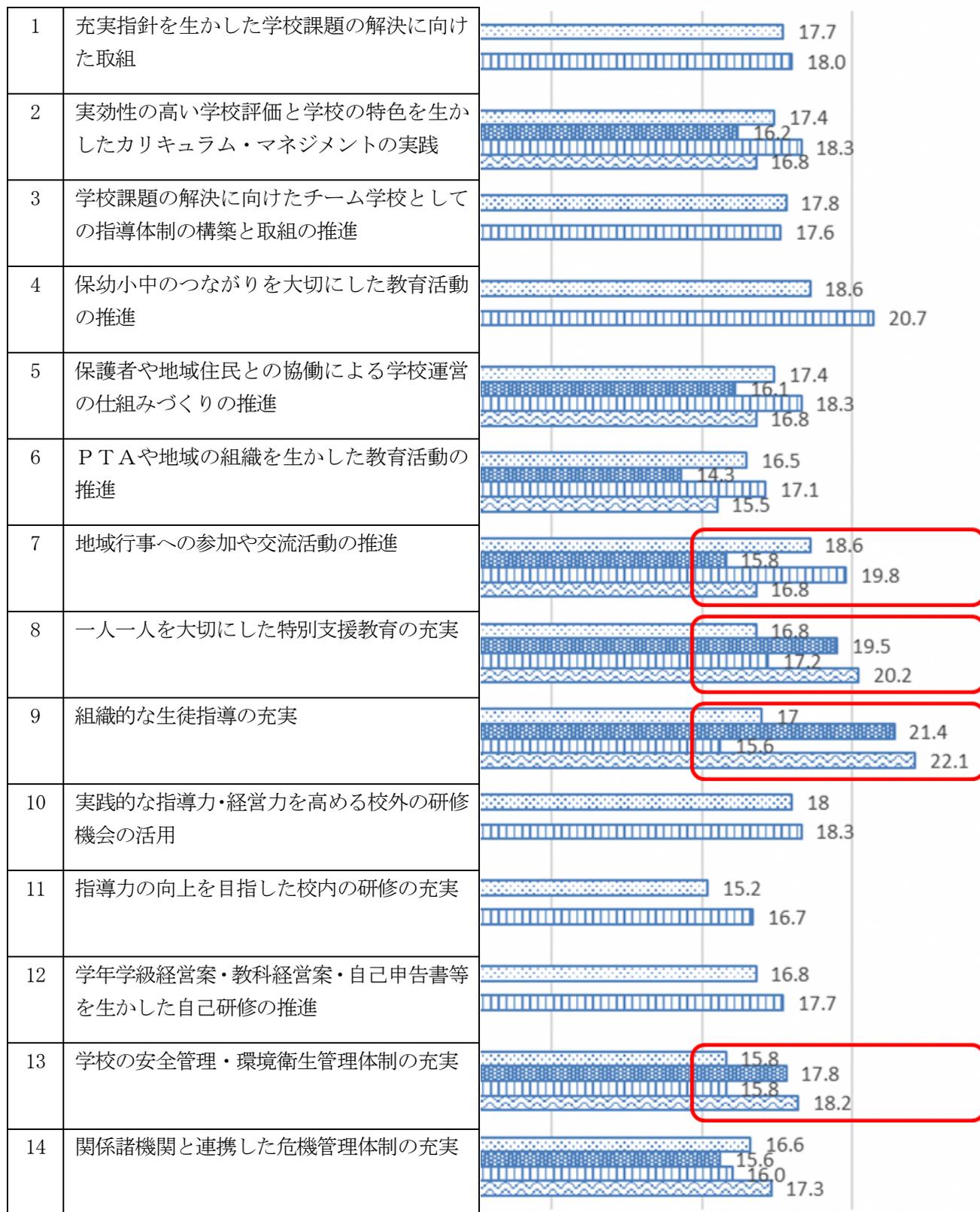
※ 網掛 は、20以上の数値

※ニーズ度= 重要度 × (8-実現度) 【重要度と実現度の4段階の回答に対して「7、5、3、1」の得点を配分し、それぞれの平均値を算出し、計算式に適用する】→数値が高いほど、ニーズが高い。

柱別の結果について

小学校教職員
  中学校教職員  
 小学校保護者
  中学校保護者

【柱1 学校力を高める学校経営】

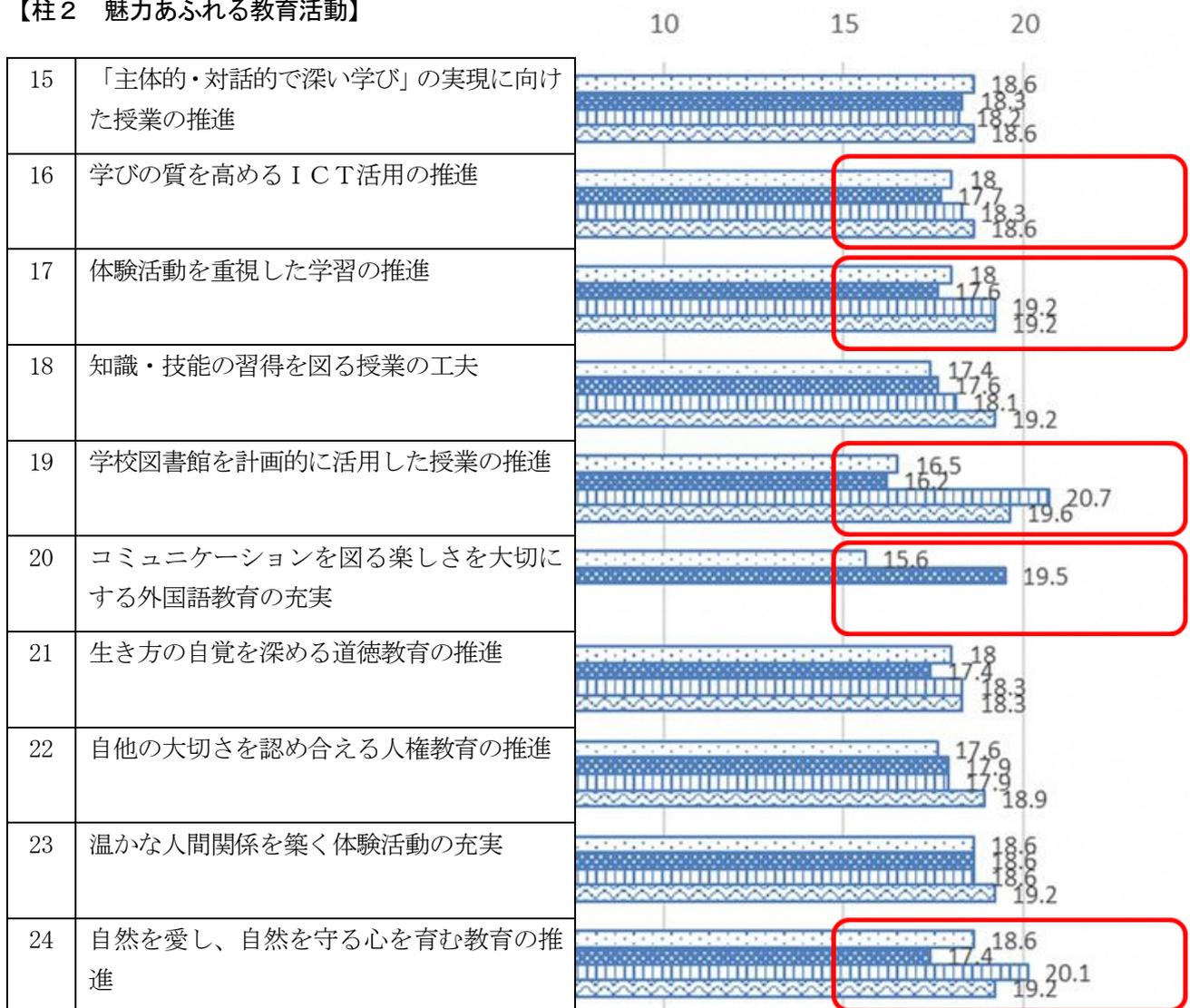


### 【柱1についての結果】

- 小学校においては、教職員、保護者ともにニーズ度は20ポイント以下の評価項目が多く、全体的に低い傾向にある。
- 評価項目7「地域行事への参加や交流活動の推進」については、小・中学校ともに教職員のニーズ度は高い傾向にあるが、保護者のニーズ度は低い傾向にあり、両者の差には、3ポイント近くの開きが見られる。また、児童の実現度が最も低くなっている。
- 評価項目8「一人一人を大切にされた特別支援教育の充実」、評価項目9「組織的な生徒指導の充実」及び評価項目13「学校の安全管理・環境衛生管理体制の充実」については、前年度に引き続き、小・中学校ともに保護者のニーズ度が教職員のニーズ度を上回っている。特に、評価項目9については、4ポイント以上の開きが見られる。

小学校教職員
  中学校教職員  
 小学校保護者
  中学校保護者

### 【柱2 魅力あふれる教育活動】





**【柱2についての結果】**

- 評価項目16「学びの質を高めるICT活用の推進」、評価項目17「体験活動を重視した学習の推進」については、前年度小・中学校ともに保護者のニーズ度が高かったが、今年度は減少し、教職員のニーズ度との差が小さくなっている。
- 評価項目19「学校図書館を計画的に活用した授業の推進」、評価項目24「自然を愛し、自然を守る心を育む教育の推進」については、中学校教職員のニーズ度が高い傾向にある。
- 評価項目19「学校図書館を計画的に活用した授業の推進」については、生徒の実現度が最も低くなっている。
- 評価項目20「コミュニケーションを図る楽しさを大切にする外国語教育の充実(小学校のみ回答)」については、教職員のニーズ度より保護者のニーズ度が3ポイント以上高くなっている。
- 評価項目30「自立性や社会性を育てるキャリア教育の推進」については、小・中学校ともに教職員のニーズ度及び保護者のニーズ度に大きな差がなく高い傾向にあり、その中で、中学校保護者のニーズ度が最も高い。

## 令和5年度 学校評価アンケートの結果について

学校教育課 教育研修係

令和5年度の各小・中学校の学校評価アンケートの結果を集計し、本市全体の傾向をまとめました。

アンケートは、「まえばし学校教育充実指針」の共通項目（33項目）に対応しています。

今年度から、項目番号の21が追加されています。

### 【令和5年度 教職員・保護者ニーズ度、児童・生徒実現度 共通項目 結果一覧】

柱	重点項目	番号	評価項目 (各項目は充実指針の各内容と対応)	小学校			中学校			
				教職員	保護者	児童	教職員	保護者	生徒	
				ニーズ度	実現度		ニーズ度	実現度		
I 学校力を高める学校経営	【1】一人一人がチームの一員として参画する学校づくりの推進	1	充実指針を生かした学校課題の解決に向けた取組の推進	16.8			17.7			
		2	実効性の高い学校評価と学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実践	17.4	16.2		17.1	17.4		
		3	学校課題の解決に向けたチーム学校としての指導体制の構築と取組の推進	17.2			17.8			
	【2】学校間の連携と開かれた学校づくりの推進	4	保幼小中のつながりを大切にされた教育活動の推進	18.6			21.8			
		5	保護者や地域住民との協働による学校運営の仕組みづくりの推進	16.5	15.6		18.3	15.5		
		6	PTAや地域の組織を生かした教育活動の推進	15.7	13.8		17.0	14.4		
		7	地域の行事への参加や交流活動の推進	16.1	15	4.9	16.5	15.5	4.4	
	【3】ニーズに応じた校内体制づくりの工夫	8	一人一人を大切にされた特別支援教育の充実	16.8	19.5		18.2	20.2		
		9	組織的な生徒指導の充実	16.1	21.4	6.1	17.0	22.8	5.2	
	【4】教職員の資質・能力の向上	10	実践的な指導力・経営力を高める校外の研修機会の活用	17.4			18.3			
		11	指導力の向上を目指した校内の研修の充実	14.9			16.5			
	【5】安全・安心な学校づくりの徹底	12	学年学級経営案・教科経営案・自己申告書等を生かした自己研修の推進	16.5			17.4			
		13	学校の安全管理・環境衛生管理体制の充実	16.2	17.6		16.2	18.2		
		14	関係諸機関と連携した危機管理体制の充実	16	15.6	6.3	16.6	17.3	6.1	
II 魅力あふれる教育活動	【6】学び続ける力の育成	15	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の推進	18.6	17.4	5.4	19.2	18.6	5.0	
		16	学びの質を高めるICT活用の推進	16.8	17.4	5.9	17.4	18.3	5.3	
		17	体験活動を重視した学習の推進	16.7	17.3	5.8	18.6	18.6	5.9	
		18	生きて働く知識・技能の習得を図る授業の工夫	18.9	17.3	5.8	19.5	19.2	5.1	
		19	学校図書館を計画的に活用した授業の推進	16.2	15.9	5.5	20.7	19.8	3.8	
		20	コミュニケーションを図る楽しさを大切にする外国語教育の充実	15	20.5	5.5				
		21	自ら探究する総合的な学習の時間の充実	17.1		5.5	18.0		5.1	
	【7】豊かな人間性の育成	22	生き方の自覚を深める道徳教育の推進	16.5	17.6	5.8	17.7	18.6	5.4	
		23	自他の大切さを認め合える人権教育の推進	16.9	17.9	6.2	18.6	19.2	5.8	
		24	温かな人間関係を築く体験活動の充実	17.3	18.6	6.5	18.6	19.5	5.7	
		25	自然を愛し、自然を守る心を育む教育の推進	18	17.4	5.7	20.3	18.9	4.8	
		26	地域の偉人や歴史、自然や文化に触れ、郷土について学ぶ教育活動の推進	17.1	16		20.4	17.5		
		27	集団や社会の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導の充実	18.8	17.7	5.8	18.6	18.3	5.7	
	【8】健康増進・体力の向上	28	運動好きな子供を育て、体力向上を図る取組の推進	16.1	16.2	5.8	17.1	16.5	5.4	
		29	基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する能力の育成	19.1	17.6	5.3	19.1	18.6	4.8	
		30	食に関心をもち、健康な生活を実現する態度の育成	18.3	17.3	5.1	19.8	18.3	5.3	
	【9】自立性・社会性の育成	31	自立性や社会性を育てるキャリア教育の推進	19.2	19.5	5.5	18.9	20.8	5.1	
		32	自治的な能力を高める学級活動、児童会・生徒会活動の推進	17.7	16.5	5.3	18.6	16.8	4.9	
		33	自己の役割を自覚し、最後までやり抜く態度を育てる活動の推進	18.6	17.3	6.2	19.2	17.9	5.9	
	平均				17.1	17.3	5.7	18.3	18.3	5.2

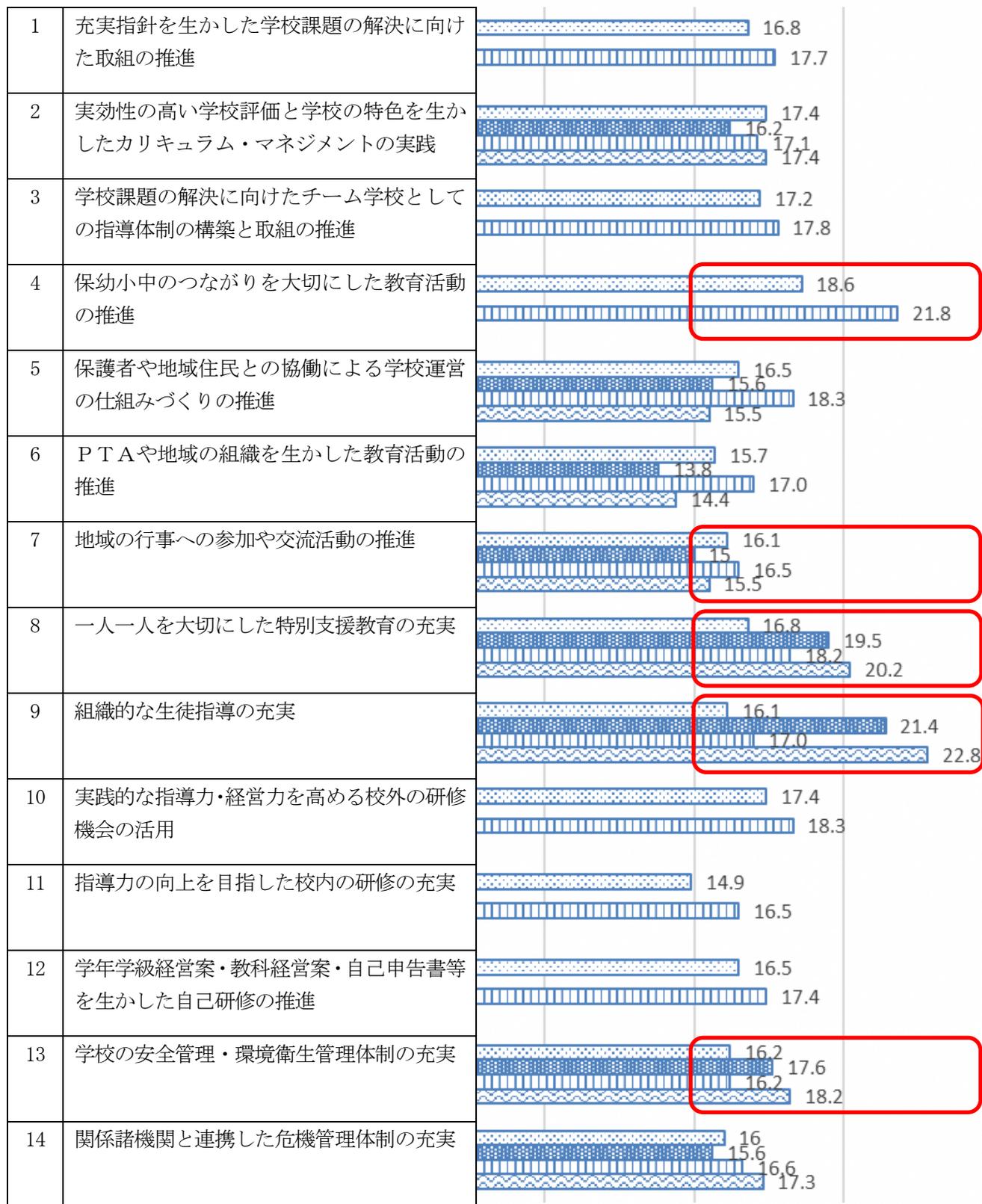
※ 網掛 は、20以上の数値

※ニーズ度 = 重要度 × (8 - 実現度) 【重要度と実現度の4段階の回答に対して「7、5、3、1」の得点を配分し、それぞれの平均値を算出し、計算式に適用する】 → 数値が高いほど、ニーズが高い。

柱別の結果について

小学校教職員
  中学校教職員  
 小学校保護者
  中学校保護者

【柱1 学校力を高める学校経営】

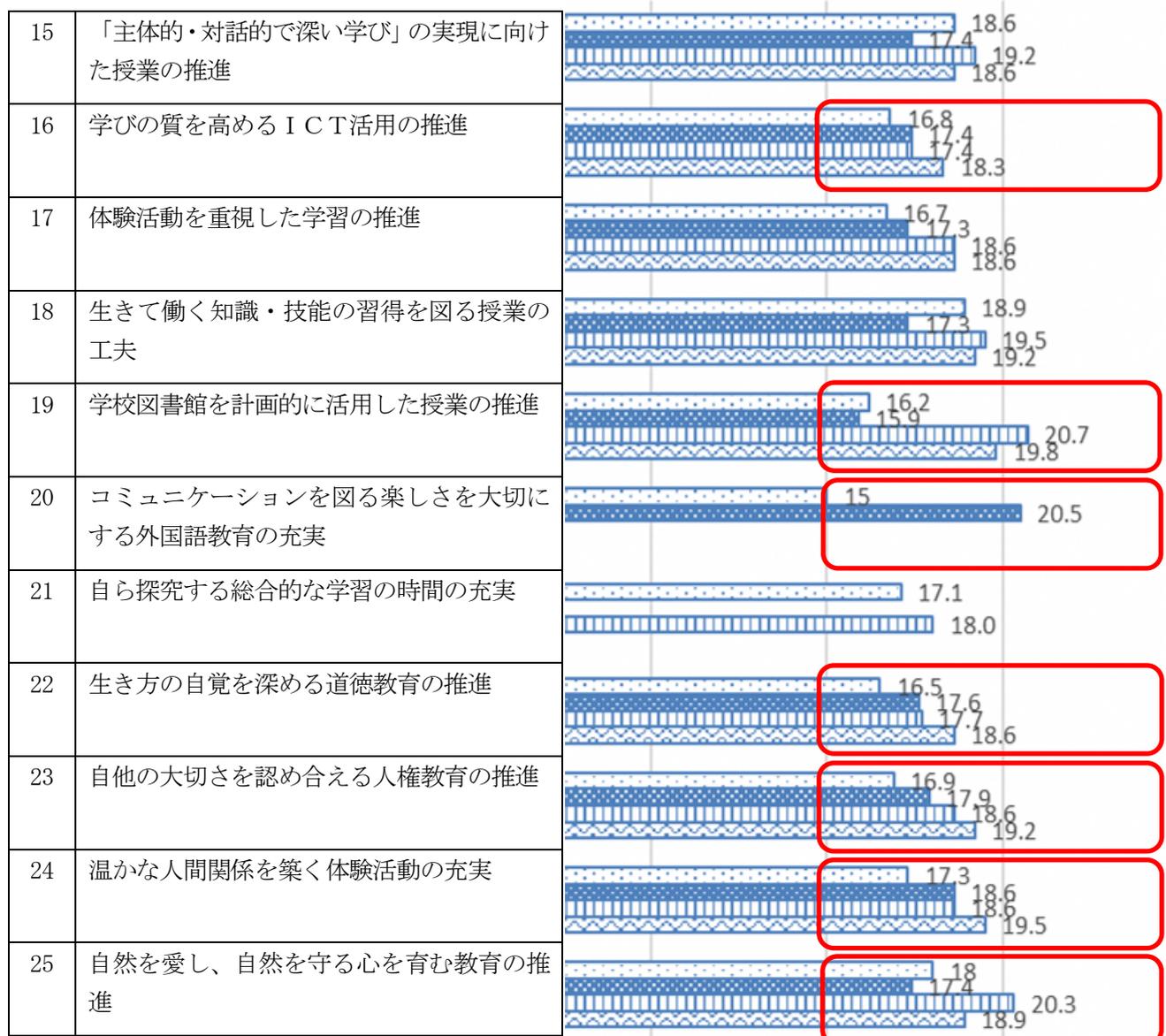


### 【柱 1 についての結果】

- 小学校においては、教職員、保護者ともにニーズ度は20ポイント以下の評価項目が多く、全体的に低い傾向にある。
- 評価項目4「保幼小中のつながりを大切にした教育活動の推進」については、前年度に引き続き、中学校教職員のニーズ度が高い傾向にある。小学校教職員のニーズ度と3.2ポイントの差がある。
- 評価項目7「地域の行事への参加や交流活動の推進」については、児童生徒の実現度が、前年度に引き続き、低い傾向にある。
- 評価項目8「一人一人を大切にした特別支援教育の充実」、評価項目9「組織的な生徒指導の充実」及び評価項目13「学校の安全管理・環境衛生管理体制の充実」については、前年度に引き続き、小・中学校ともに保護者のニーズ度が教職員のニーズ度を上回っている。特に、評価項目9については、5ポイント以上の大きな開きが見られる。

小学校教職員
  中学校教職員  
 小学校保護者
  中学校保護者

### 【柱 2 魅力あふれる教育活動】





**【柱2についての結果】**

- 評価項目19「学校図書館を計画的に活用した授業の推進」、評価項目25「自然を愛し、自然を守る心を育む教育の推進」及び項目26「地域の偉人や歴史、自然や文化に触れ、郷土について学ぶ教育活動の推進」については、中学校教職員のニーズ度が高い傾向にある。評価項目19については、生徒の実現度が最も低くなっている。
- 評価項目16「学びの質を高めるICT活用の推進」、評価項目22「生き方の自覚を深める道徳教育の推進」、評価項目23「自他の大切さを認め合える人権教育の推進」、評価項目24「温かな人間関係を築く体験活動の充実」については、小・中学校ともに保護者のニーズ度が教職員のニーズ度を上回っている。また、評価項目20「コミュニケーションを図る楽しさを大切にする外国語活動の充実（小学校のみ回答）」については、小学校教職員のニーズ度より、小学校保護者のニーズ度が5ポイント以上高くなっている。
- 評価項目31「自立性や社会性を育てるキャリア教育の推進」については、小・中学校ともに教職員のニーズ度及び保護者のニーズ度に大きな差がなく高い傾向にあり、その中で、中学校保護者のニーズ度が最も高い。

### (3) 研究に関わる学習指導案の収集・整理

令和5年度に前橋長期研修、前橋特別研修で実践した学習指導案を収集し、整理した。

〔成果〕

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組んでいる実践の学習指導案をC4thの書庫に校種別に整理して保存し、情報の共有を図った。

〔課題〕

- 収集した学習指導案を校内研修や研究の資料として活用できるよう、各種研修会で紹介するなど、さらなる周知を図る必要がある。

### (4) 教育研究所連盟関係事業

【群馬県教育研究所連盟に関すること】

- ・令和5年度 春季研修会 5/31 オンライン開催
- ・令和5年度 冬季研修会 1/19 オンライン開催
- ・令和5年度 デジタル連盟双書 原稿執筆
  - 執筆者 前橋市立城東小学校 長田 道久 教諭  
主 題 数学的な見方・考え方を働かせながら、問題解決の過程や結果を振り返る児童の育成
  - 執筆者 前橋市立東小学校 井上 若菜 教諭  
主 題 国語科「書くこと」において、自分の考えを相手に伝わるように表現できる児童の育成
  - 執筆者 前橋市立東中学校 宮崎 智嗣 教諭  
主 題 自らの学びを蓄積し活用する力の育成
  - 執筆者 前橋市立桂萱東小学校 三輪 美鈴 教諭  
主 題 外国語活動において、見通しをもって楽しくコミュニケーションを図る児童の育成
  - 執筆者 前橋市立桃川小学校 加藤 織乃 教諭  
主 題 メディアに関する児童の自己指導能力の獲得を支える生徒指導の充実
  - 執筆者 前橋市立駒形小学校 木村 拓真 教諭  
主 題 ICTの活用を通して、考えを広げ深める児童の育成
  - 執筆者 前橋市立大胡小学校 小島 和樹 教諭  
主 題 算数科において既習事項を活用し、見通しをもって問題解決する児童の育成
  - 執筆者 前橋市立みずき中学校 奥村 大威 教諭  
主 題 中学社会科地理分野において、身に付けた知識を自分事として捉えて表現できる生徒の育成